

日本リハビリテーション医学会 平成 22 年度第 4 回理事会 議事録

日 時：平成 22 年 7 月 24 日(土) 12 時～16 時 15 分

場 所：全国町村会館 第 1 会議室

構成員：理事 16 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光

椿原彰夫・正門由久・水落和也・吉永勝訓

監 事／木村彰男

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から平成 22 年度第 3 回及び第 4 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から会員現況について報告があった。

II. 重要審議事項

1) 公益法人制度 WG の今後の進め方について

上月常任理事から、公益法人申請のための今後のスケジュール、公益と一般社団法人との比較表、内閣府及び文部科学省への相談内容、定款の新旧対照表、行政改革推進本部事務局発信の公益法人制度改革の概要及び 7 月 22 日付内閣府特命担当 蓮舫大臣発出のコメントの説明があった。また、7 月 22 日の公益法人制度移行ワーキンググループでの検討内容を踏まえ、最近の公益法人認定の状況から早めの公益認定申請が望ましいこと、そのために代議員選挙・役員選挙の変更の内規(案)、定款の変更(案)の作成などのスケジュールを早めていく必要があること、定款変更に伴って代議員制へ変更する場合の代議員数を 250 名以上 300 名以内とするものの提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) 50 回大会・50 周年記念事業の準備について

里宇理事長から次の提案説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

① 日程・会場について

・会期：平成 25 年 6 月 12 日(水)～15 日(土)

・記念式典・祝賀会：平成 25 年 6 月 13 日(木)午後からの案を軸に今後検討。

・会場：東京国際フォーラム(仮予約済み)

② 50 周年記念行事実行委員会委員について

・委員長：里宇明元理事長

・副委員長：(渉外) 赤居正美常任理事，(財務) 上月正博常任理事，(50 回大会) 水間正澄常任理事

・委員：才藤栄一理事(国際委員会)，朝貝芳美理事(関連専門職委員会)，菅俊光理事(広報委員会)(地方会)，川平和美理事(編集委員会)，菊地尚久幹事長(専門医会)，監事：木村彰男監事

③ 事業内容について：今後、実行委員会で検討。

④ 参考として、日本神経学会の記念事業例の説明があった。

III. 審議事項

1) 役員役割分担の確認と各委員会の重点事項

赤居常任理事から、新組織図、平成 22 年度事業方針、平成 22 年度各種委員会、専門医会の活動計画、平成 22 年度本医学会年間予定表に基づき説明があり、原案が確認された。

2) 現行 Web アンケートの問題点と改善策

吉永常任理事から社会保険等委員会が実施したアンケート調査に関連する現行の Web アンケートの問題点として、システムの問題と回収率の問題について説明があった。引き続き水間常任理事から社会保険等委員会のアンケートの回収率が低いとの説明に併せ、インセンティブの問題、評議員への回答の義務化等について提案があり、審議の結果、システム委員会でアンケートの問題を含めシステムをトータルで見直しを行うこと、インセンティブの問題、

評議員への回答の義務化等については引き続き検討していくことが承認された。

3) データマネジメント特別委員会の設置について

赤居常任理事から次の委員候補の提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

赤居正美（常任理事）、生駒一憲（理事）、菊地尚久（専門医会幹事長）、近藤克則（臨床研究・調査のためのガイドライン策定委員長）、梅津祐一（策定委員）、佐浦隆一（理事、策定委員）、佐伯覚（策定委員）、藤原俊之（策定委員）、宮井一郎（策定委員）、宮越浩一（策定委員）

4) 日本障害者協議会協議員の交替について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、吉永勝訓前常任理事から水間正澄常任理事に交替することが、承認された。

5) 文献データベース構築のためのソフトウェア購入について

生駒理事から説明があり、審議の結果、基本的に承認することとし、購入費のコストを落とすことができないか、再調査をすることとした。

6) 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第2版出版に係る他学会等への協力依頼について

生駒理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7) 脳卒中治療ガイドライン 2009 修正案について

生駒理事から説明があり、審議の結果、本ガイドラインの修正については合同委員会との兼ね合いがあり、生駒理事に合同委員会と修正案の取り扱いを相談していただくこととした。

8) 会員名簿作成担当委員会の設置について

赤居常任理事から委員候補者の浅見豊子理事、菅俊光理事、椿原彰夫理事の提案があり、審議の結果、承認された。

9) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があった。

10) 医師以外の正会員入会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11) 社会保険等委員会関係

吉永理事、水落理事から次の説明があった。

① リハビリテーションの標準的算定日数に関する関係団体への聞き取り調査（報告書）

② 日本リハビリテーション医学会と日本整形外科

学会社保合同連絡会議報告

③ リハビリテーション医療関連5団体会議報告

④ 内保連平成22年度第2回運営会議報告

⑤ 平成22年度第2回社会保険等委員会報告

水間常任理事から第1回がんのリハビリテーション研修会報告があった。

12) Web版リハビリテーション医学用語事典の執筆に対する生涯教育単位付与について

佐浦理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

関連して、水間常任理事から単位認定のインセンティブの問題について、今後認定委員会・教育委員会で取り決めに検討願いたい旨の提案があり、了承された。

13) 平成22年度指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり3名の新規認定が承認された。

14) 平成22年度研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり10施設の認定が承認された。

15) 研修施設の資格喪失について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり4施設の資格喪失が承認された。なお、資格喪失を承認した山梨大学医学部附属病院については、本医学会として何らかの連絡をすることが確認された。

16) 指導責任者の資格更新について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり6名の資格更新が承認された。

17) 専門医・認定臨床医の資格更新について

浅見理事から説明があり、対象者83名/663名についての審査状況について説明があった。19名については更新が承認され、資格喪失15名については単位不足14名、辞退1名である旨の報告があった。

18) 細則(2)-e項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) その他

① 後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

Ⅳ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 22 年 5 月 20 日から平成 22 年 7 月 16 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

- | | |
|---------------|------|
| ① 編集委員会 | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会 | 佐浦理事 |
| ③ 教育委員会 | 正門理事 |
| ④ 認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤ 試験問題委員会 | 出江理事 |
| ⑥ 障害保健福祉委員会 | 朝貝理事 |
| ⑦ 広報委員会 | 菅 理事 |
| ⑧ 国際委員会 | 才藤理事 |
| ⑨ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |
| ⑩ システム委員会 | 菅 理事 |

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から報告があった。

3) 平成 22 年度女子医学生、研修医等をサポートするための会の開催について

里宇理事長から報告があり、平成 21 年同様専門医会に申請を依頼することとした。

4) 研修施設 Web システムについて

浅見理事から初回ログインと年次・更新報告提出について、これから Web システムで行う旨の報告

があった。

5) 病態別実践リハビリテーション医学研修会について

正門理事から研修会開催計画について報告があった。

6) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から判定結果について報告があった。

7) 平成 22 年度厚労省老人保健事業推進費等補助金の内示について

赤居常任理事から報告があった。

8) チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループ

里宇理事長から報告があり、リハビリテーション処方、義肢装具処方・適合判定にも関わる問題であり、社会保険等委員会及び関連専門職委員会に情報収集と対応の検討を依頼することとした。

9) 指導医制度に関するアンケート調査について

里宇理事長から報告があり、本医学会としても指導医制度のあり方について検討を準備する必要がある旨の発言があった。

10) 平成 22 年度後期各種委員会委員の委嘱・解職について

里宇理事長から 8 月 6 日まで申請書の提出依頼があった。

11) 平成 23 年度役員会日程(案)について

赤居常任理事から報告があった。

12) その他

① 里宇理事長から事務局職員業務分担について報告があった。

以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 22 年度第 5 回理事会 議事録

日 時：平成 22 年 9 月 25 日(土) 12 時～16 時 35 分

場 所：全国町村会館 第 1 会議室

構成員：理事 16 名、監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・川平和美

才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光・椿原彰夫

正門由久・水落和也・吉永勝訓

監 事／木村彰男・住田幹男

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から平成 22 年度第 5 回及び第 6 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から会員現況について報告があった。

3) 50 回大会・50 周年記念事業の準備について

里宇理事長から第 1 回 50 周年記念事業実行委員会及び第 2 回実行委員会と名誉会員・理事長経験者との意見交換会の報告があった。

関連して、水間常任理事から予算の概要の報告があった。

○重要審議事項に先立ち袖山裕行公認会計士から、最近の公益法人への移行状況及び新公益法人制度について説明の後、質疑応答があった。

II. 重要審議事項

1) 日本リハビリテーション医学会定款変更(案)

2) 日本リハビリテーション医学会代議員選挙に関する規則(案)

3) 日本リハビリテーション医学会代議員選挙に関する内規(案)

○日本リハビリテーション医学会選挙に関する問題点整理(平成 22 年 5 月役員選挙までのまとめ)

○日本リハビリテーション医学会選挙関連の経過と問題点(平成 22 年 5 月役員選挙までのまとめ)

上月常任理事から 9 月 14 日の公益法人制度移行ワーキンググループでの検討内容を踏まえ、今後のスケジュールの修正に併せ平成 23 年 7 月以降できるだけ早い時期に公益認定申請を行うこと、定款等の規定(案)を 10 月 25 日の臨時役員会で承認願う方向で進めたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。なお、本定款変更案等の規定について 2 週間以内に修正意見等を事務局に申し出ることとした。

関連して、吉永理事から説明の後、「選挙に関する問題点の整理」の項目ごとに検討を行い、審議の結果、定款変更案等の規定作成に併せて検討を重ねること。また、都道府県等の地区割については、次回臨時役員会までに地方会連絡協議会の意見を聞き反映させることが、承認された。

III. 審議事項

1) 平成 22 年度後期各種委員会委員の委嘱・解職について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) 臨床研究・調査のためのガイドライン策定委員会の廃止について

生駒理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3) Web 版リハビリテーション医学用語事典の追加機能(追加予算)について

佐浦理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。関連して、Web 版リハビリテーション用語事典運用に関する申し合わせ(案)について説明があり、審議の結果、一部修正のうえ会則検討委員会に検討を依頼することで、承認された。

4) 臨時評議員会開催について(通知案)

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、開催時間を 13:30～15:30 に変更して開催することが、承認された。

5) 評議員の職務上の責務に関する内規(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、一部修正することで、承認された。

6) 専門医制度関係

上月常任理事から説明があり、審議の結果、専認構の情報収集を密にし、今後も継続して審議することが、承認された。

7) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があった。

8) 社会保険等委員会関係

吉永理事、水落理事から説明があった。

① 平成 22 年度第 3 回社会保険等委員会報告(斉藤正身氏講演資料)

② リハビリテーション医療関連 5 団体会議報告

関連して、吉永理事から第 40 回リハ医療関連 5 団体会議(平成 22 年 9 月 7 日開催)の議事の 3. 訪問リハビリテーションについて、社会保険等委員会担当理事として質を担保するという前提で訪問リハステーションの創設を進めたい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

③ 内保連・外保連報告

④ 特定看護師導入に係わる内保連リハ関連委員会参加学会へのアンケート結果の報告

9) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーション委員会アンケート実施について

生駒理事から説明があり、審議の結果、アンケート実施が承認された。

なお、本アンケート案の内容に対する意見等があれば1週間以内に事務局に申し出ることとした。

10) 地域リハビリテーションについてのアンケート実施について

朝貝理事から説明があり、審議の結果、アンケートを実施すること及び全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会と連携して実施することが承認された。

なお、本アンケート案に対する意見等があれば1週間以内に事務局に申し出ることとした。

11) がんのリハビリテーション研修会について

水間常任理事から、学協会6団体による研修会の企画・運営を目的とする合同委員会が組織され、水間常任理事が合同委員会委員長に就任し既に2回開催されたこと、及び事務局を本医学会事務局に置くこととし、運営実務を財団法人ライフ・プランニング・センターに業務委託する旨の報告があり、承認された。

12) 平成22年度専門医試験特別委員候補(案)

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13) 指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり8名の新規認定が承認された。

14) 研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり2施設の認定が承認された。

15) 指導責任者の資格更新について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり1名の資格更新が承認された。

16) 専門医・認定臨床医の資格更新について

浅見理事から資格更新2名、資格喪失7名について説明があり承認された。

17) 細則(2)-e項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

18) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19) その他

① 後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成22年7月23日から平成22年9月21日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

① 編集委員会	川平理事
② 評価・用語委員会	佐浦理事
③ 教育委員会	正門理事
④ 認定委員会	浅見理事
⑤ 関連機器委員会	水落理事
⑥ 国際委員会	才藤理事
⑦ 診療ガイドライン委員会	生駒理事
⑧ システム委員会	菅 理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から報告があった。

3) データマネジメント特別委員会報告

赤居常任理事から報告があった。関連して、学会が行った調査データの二次利用に関する規則第6条(利用許可)の業務推進担当役員とあるところを担当理事に読み替えて適用することについて説明があり、承認された。

4) 細則(2)-g項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から判定結果について報告があった。

5) 市民公開講座報告(青森)

上月常任理事から報告があった。

以上

日本リハビリテーション医学会 平成 22 年度第 6 回理事会(臨時) 議事録

日 時：平成 22 年 10 月 25 日(月) 17 時～19 時 20 分

場 所：都市センターホテル 701 号室

構成員：理事 14 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／上月正博・水間正澄

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・佐浦隆一・菅 俊光・椿原彰夫

正門由久・水落和也・吉永勝訓

監 事／木村彰男・住田幹男

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から平成 22 年度第 7 回常任理事会(臨時)の報告があった。

II. 重要審議事項

1) 公益法人申請のための今後のスケジュール(案)について

上月常任理事から今後のスケジュール(案)について、9 月 25 日の役員会での検討内容を踏まえ、平成 23 年 6 月以降出来るだけ早い時期に代議員選挙を実施し、7 月以降代議員選挙の進捗状況に合わせて公益認定申請を行う。また平成 23 年度は現行の評議員選挙の年であるが、公益認定の時期を睨み並行して代議員選挙を実施する日程表(案)の提案説明があり、審議の結果、承認された。

2) 日本リハビリテーション医学会定款変更(案)

上月常任理事から定款変更(案)について説明があり、審議の結果、以下が承認された。①第 3 条(地方会)について、本医学会本体に含めないこととするため削除する。②第 6 条(法人の構成員)について、医師以外の正会員からの代議員を選出することを考慮し、再検討する。③第 13 条第 5 項の社員の任期について、4 月 1 日から翌々年の 3 月 31 日を本医学会の学術集会を起終点とすることができないか再検討する。④第 20 条第 3 項について、理事又

は監事の選任についての規定が判りにくいので解釈を確認する。⑤第 50 条(施行細則)の条文を追加する。⑥(附則)第 4 項定款施行後の最初の代議員に係る条文を追加する。

3) 日本リハビリテーション医学会代議員選挙に関する規則(案)

上月常任理事から代議員選挙に関する規則(案)について説明があり、審議の結果、以下が承認された。①第 4 条第 3 項所属地区の規定の学会誌送付先を勤務先へ修正する。②代議員選挙に関する規則の選挙に関わる日程を「別に定める日」とする。③具体的日程は代議員選挙に関する内規に記載することに併せ、選挙に関する規則の附則に平成 23 年度の選挙の特例についての条文を追加する。

関連して、吉永理事から第 6 条第 2 項選挙管理委員会委員の地区毎の委嘱数を 1 名(合計 8 名)で運営できるのではないかと修正提案があり、審議の結果、承認された。さらに同理事から現在 3 つある選挙管理委員会を、この機会に 1 つにまとめて運営できないかとの提案があり、審議の結果、承認された。また、同理事より選挙管理の実務だけでなく、選挙のあり方を検討する機能も必要であるとの意見が出され、その受け皿については引き続き検討することとした。

4) 日本リハビリテーション医学会代議員選挙に関する内規(案)

上月常任理事から代議員選挙に関する内規(案)について説明があり、審議の結果、第 4 条第 2 項の投票の連記数の条文を「投票は、地区毎の代議員数に基づき、連記式とし、連記数は選挙管理委員会から理事会に提案し、理事会で決定する」に修正することが承認された。

なお、上記の定款変更(案)等の規定を修正のうえ各評議員に事前に送付することとした。

5) 理事・監事の兼職状況について(平成 22 年 5 月 22 日就任時)

上月常任理事から、理事・監事の兼職状況について説明があった。なお、然るべき時期に事務局から各役員に最新の兼職状況の依頼をすることとした。

Ⅲ. 審議事項

- 1) Web版リハビリテーション医学用語事典運用に関する申し合わせ(案)について

佐浦理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 2) 専門医会研究補助金に関する内規(案)について

菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、同内規(案)を会則検討委員会に検討を依頼することで、承認された。

- 3) 電子査読システム運用開始について

川平理事から説明があり、審議の結果、承認された。

- 4) その他

菊地専門医会幹事長から、社団法人日本専門医制評価・認定機構研修施設委員会における専門医研修施設調査について、次回役員会(11月27日)に詳細説明を行う旨、報告があった。

以 上